

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテや問診の記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

irAEs 早期発見に向けた副作用自己申告型問診システムの運用とその有用性の検討

【研究機関】

愛媛大学医学部附属病院 外来化学療法室
愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

【研究責任者】

薬師神芳洋（腫瘍センター・緩和ケアセンター センター長兼教授）

【研究の目的】

本調査の目的は、がんの治療薬である免疫チェックポイント阻害剤を投与した後に早期発見・早期対応が求められる副作用（免疫関連有害事象；irAEs）が起きているかどうか、タブレット端末を用いた問診システムに入力された結果をカルテより収集し、解析します。この調査により、問診の有用性を検討し、今後の診療にも役立てられると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2019年6月から2020年5月に愛媛大学医学部附属院を受診された方のうち免疫チェックポイント阻害剤を使用し免疫関連有害事象に関する問診システムを使用された患者さん

（利用するカルテ情報）性別、年齢、現病歴、抗がん剤投与歴、問診数、問診内容、副作用発現状況

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院臨床腫瘍センター・緩和ケアセンター 薬師神芳洋

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院臨床腫瘍センター・緩和ケアセンター 薬師神芳洋

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5969